





[illegible]

孝
慈

あふま猫

子男

子方拙

時をたて
 走るをた
 ねの上の
 うるまじ
 足あはし

三 号 記 号 三

勸

[illegible]

卷之四



五

猶永

五

子

四

玉璫



琴



狹



⑤とちととるくねづとかくかき④

[illegible]

د

其

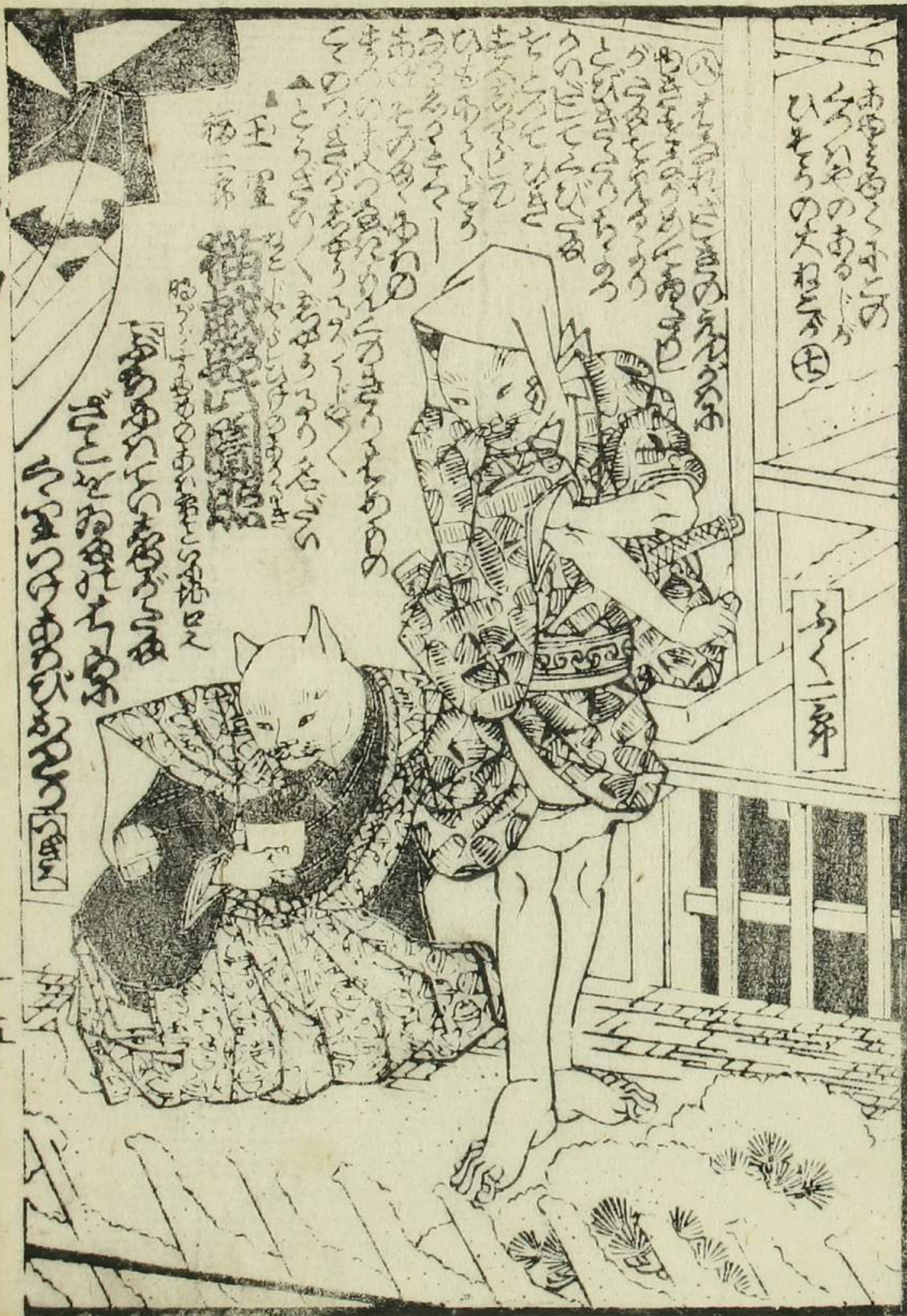
其二
そのあたるあさ
なるうづち
ごうちのたふきゆく
うすらゆき
あつたあつたあひ
さやうけいさあひのん
さうだてたのこめり
あり



子

あやもめくすの
ふりやのあやどろ
ひまのふねを(七)

之二





① ちやうどいふやうな
 ② ちやうどいふやうな
 ③ ちやうどいふやうな
 ④ ちやうどいふやうな
 ⑤ ちやうどいふやうな

○りまあがととあんととつねのせいさど○



① ちやうどいふやうな
 ② ちやうどいふやうな
 ③ ちやうどいふやうな
 ④ ちやうどいふやうな
 ⑤ ちやうどいふやうな

① ちやうどいふやうな
 ② ちやうどいふやうな
 ③ ちやうどいふやうな
 ④ ちやうどいふやうな
 ⑤ ちやうどいふやうな

[illegible][illegible]

晉文作

ついでに上巻の
おやあすの
まゐりむつと
おきてまゐ
にやあすの
らぬち
あつ(一)

元

芳虎描

板元 通由町
藤岡屋麿次郎

二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

五

傳書

支來

山東の朧月で
河竹の流み模
鑽花猫眼髪蔓

初編 假名垣魯文作
より
追々出版 芳虎画

故人京山翁の猫の双紙。昔々時好ふ叶星霜疾くも十歳と云ふ
千流流行を送る板刻先年焼失く製本あると稀なる常貴蔵の
思ふもの。今般あつて愚案を設け原本ふたたび街に感場の世
を脚色加ふるあり。當時のやうなとて身で画様の目先を替々
引續けし入泰の三編は爲雲がう富の猫王の情猫の福と共々艷具の
手鍋を掛け楊のの徳は居本房尻の権の俠義のありと云々
かも。うた世に猫のうたえんと云々三編より時代やうり芝居からこの
画組は猫の怪談だが足第四編へ入る回数たのうはうに
あれて試とたまふと云々んてや江戸通油町

地本草紙問屋
松林堂
藤岡屋梓
問屋

江戸通油町

